

JLEM News Letter Vol.31



東日本大震災について

この度の東北地方太平洋沖地震により被災されました会員の皆様、ご家族の方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。会員の皆様はもとよりご家族ご友人の皆様のご無事をお祈り申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願っております。

第36回

日本語教育方法研究会

3月26日(土)に首都大学東京で開催予定だった第36回日本語教育方法研究会は大地震の影響で中止になりました。発表予定、参加予定の皆様、そして会場校として準備にあたってくださっていた首都大学東京の皆様にはご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。なお、今回、発表予定だった皆様の原稿は、会誌への掲載をもって「発表」扱いということにさせていただきます。

次回開催校挨拶

中川良雄
(京都外国語大学)

次回JLEMは、2011年9月10日(土)に京都外国語大学にて開催される運

びとなりました。京都外国語大学は、今年、日本語学科設立20周年を迎えました。この記念すべき年に、日本語教育に関心を寄せる皆さまを本学にお迎えできることをうれしく思います。

キャンパスは、京都のメイン・ストリート四条通に面し、嵐山や金閣寺、太秦広隆寺からもほど遠くないところにあります。研究会で少し頭を働かせたあとは、初秋の古都を散策するもよし、京料理に舌鼓を打つもよし、気分をリフレッシュさせてみるのもいいでしょう。研究会とともに、きっとご満悦いただけるものと確信いたします。

ぜひ京のみやこへお越しやす

運営委員会報告

例年ならば研究会の前日に行われる運営委員会も震災の影響でメールによる会議という形をとりました。

以下、運営委員会で審議した結果をご報告いたします。

1. 2010年度決算

「別紙」のとおり承認された。

2. 2011年度の予算(案)

「別紙」のとおり承認された。

3. 運営委員会の委員の交代

退任

才田いずみ氏、名嶋義直氏(東北大学)

新任

渡邊芙裕美氏(慶応義塾大学)

会誌編集委員

長谷川守寿氏(首都大学東京)

会員管理

4. CiNiiへの論文掲載方法および論文執筆者からの許諾の取り方

①CiNiiへ論文本文を掲載する

②閲覧は無料とする

③会誌発行の1年後に掲載する

・ニュースレターで会員の皆様からの意見を募ったところ、反対意見はなく、むしろ、是非実現してほしいとの依頼があった。

④ニュースレターおよび秋の総会で告知し、論文執筆者からCiNii掲載への許諾をとる

a. ニュースレターで告知し、2012年3月31日までに異論がなければ、許諾を得たものとする

b. ニュースレター送付時には、異論がある場合の連絡用紙を同封する

5. 20周年記念事業

① 2013年春に記念大会を実施し、そこでパネルセッションを行う。

② 2013年秋あるいは2014年春に20周年記念号を刊行する。

6. 今後の研究会の開催予定

・2011年9月10日 京都外国語大学

・2012年3月10日 国際基督教大学

なお、詳細に関しましては、9月10日の研究会で改めて会員の皆様にご報告し、追認を受けたいと考えております。よろしくお願いたします。

(川村よし子)

バックナンバーの 電子化について

前号のニューズレターでお知らせしたとおり、会誌のバックナンバーの電子化が完了いたしました。また、電子化の許諾に関しまして、電子メールで許諾を得るとともに、連絡の取れなかった方々に関しまして、ニューズレター等で告知したところ、期限（2011年3月31日）までに、電子化拒否のご連絡はありませんでした。そこで、バックナンバーに収録されたすべての論文に関して、電子化の許諾を得たものとみなさせていただきますこといたしました。

(金庭久美子)

CiNii への論文掲載 について

JLEM会誌のCiNii掲載に関して、会員の皆様からのご意見を募ったところ、否定的なご意見は全くなく、むしろ積極的に進めてほしいという賛成のご意見をいただきました。これをうけて運営委員会ではJLEM会誌のCiNii掲載を進めることに決定いたしました。

(研究会誌のCiNii掲載についての詳細は前号をご覧ください。)

つきましては、次のような流れで、論文執筆者の皆様からの許諾をいただきたいと思います。

a. 過去の論文執筆者には、メールで連絡するとともに、ニューズレター、ホームページおよび秋の総

会で告知する

b. ニューズレター送付時には、異論がある場合の連絡用紙を同封する

c. 2012年3月31日までに異論がなければ、執筆者から許諾を得たものとする

d. 次号以降の会誌については、論文執筆時にCiNii掲載の許諾を得る

以上のような流れで行いますので、皆様よろしくお願いいたします。

(川村よし子)

HP サーバー移転 について

これまでJLEMのホームページは国立情報学研究所のサーバ上におかせていただいていたのですが、同研究所のホームページサービス中止にともない、<http://roo.tc/JLEM/>に移転いたしました。

リンク、ブックマーク等の修正をよろしくお願い致します。

(松崎寛)

20周年記念事業 について

2013年春に日本語教育方法研究会は20周年を迎えます。人であれば成人を迎えるだけの経験を積み重ねてきたとも言えますし、これからさらに成熟していかなければならない年齢でもあります。昨年から運営委員を中心とした記念事業ワーキンググループは、この節目にふさわしい記念事業を検討

してきました。今回は、皆さんからのご意見やご希望、そして興味がある方はぜひワーキンググループ・メンバーとして参加していただきたいと考え、現段階の記念事業案をご報告させていただきます。

JLEM20周年記念大会

○目的：これまでの研究発表を振り返り、それに基づき「日本語教育方法研究」の対象、方法、成果を示すとともに、今後の展望を検討する。

○形式：パネル・セッション

10周年～20周年までに行われた研究発表を領域別に振り返り、どのような理論的背景に基づき、どのような教育実践、教育研究が行われ、その結果、どのような成果を示してきたかを概観する。その上で、今後「日本語教育方法研究」はどのように発展していくべきかについて、領域を代表するパネラーによるディスカッションを行う。

○開催予定：2013年春季大会前日

また、記念事業としては、上記のパネル・セッションをまとめた20周年記念研究会誌の発行、領域別のワークショップやパネル・セッションの提案に賛同する人によるプロジェクト研究などの推進、という案も議論されております。これらの議論に加わり、記念大会を盛り上げたい、という方は以下のアドレスまでぜひご連絡ください。

jlem-ml@tiu.ac.jp

(衣川隆生)

ご連絡先を お知らせください

下記の方々の連絡先が不明となっております。ご存知の方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報くださいますようお願い申し上げます。

川崎市 小西円さん

豊島区 神谷英里さん

中野区 恵谷容子さん

中野区 山中都さん

八王子市 橋本函幸さん

京都市 NAZAROVA EKATERINAさん

石川郡 鎌田倫子さん

会費納入について

5月末で会費の確認ができない方は9月以降の会誌の送付を中止しております。ラベルの納入年度をご確認ください。会費は年3000円です。

1) 郵便局より送金する場合

「電信払込み請求書・電信振替請求書」(水色の枠のもの)を使用し、以下宛てお送りください。

記号: 10140

番号: 69076511

加入者: 日本語教育方法研究会

2) 銀行のATMやネットバンキングを利用し、振り込む場合以下宛てお送りください。

銀行名: ゆうちょ銀行

店名: 〇一八 店 (ゼロイチハチ店)

金融機関コード: 9900 店番: 018

預金種目: 普通 (または貯蓄)

口座番号: 6907651

口座名: 日本語教育方法研究会

尚、ホームページの入会申し込みのページにも振り込み方法をご案内しております。

<http://roo.tc/JLEM/> (新URL)

* 海外からの会費払い込みについては、国際郵便為替でお支払ください。

* 問い合わせ先:

jlem-ml@tiu.ac.jp

(金庭久美子)

日本語教育方法研究会

<http://roo.tc/JLEM/>

jlem-ml@tiu.ac.jp

(レター編集: 小林由子)